

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	05	子育て支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/石倉	64813/64852	

事業の概要									
事業の概要		育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習及び男性の育児参加を促進させ、子育てに対する不安や悩みなどの軽減を図るとともに子育て当事者の育児力向上を目指す。子育て支援講座や親育ち支援事業などを実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		核家族、少子化等社会の中、子育て不安や孤立化が社会の課題となっている。子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てを行うためには、子育て家庭への支援だけでなく、地域全体で子育てを支える地域づくりが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	826	691	803	636	779	531	727	611
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	40	31	1	0	1			
	一般財源	786	660	802	636	778	531	727	611

計画 (Plan)	
事業の目的	地域人材や団体と連携しながら子育て中の親子等が交流・学習する機会や様々な場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援事業…9～10月にかけて、すくらむ21で3回連続講座を開催する。</li> <li>親育ち支援事業…5、8、11、2月に、区役所あるいは高津市民館で4週連続講座を開催する。</li> <li>あつまれキッズ…区内施設4か所において、対象年齢毎にサロン形式での開催と、オンラインによる開催。(緊急事態宣言発出のため9月は中止) 延べ554人参加</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・子育て支援事業は、父親の育児参加促進講座を3回連続講座に1回の公開講座を加えて実施。親子12組が参加。 ・親育ち支援事業は、4週連続の参加型講座を4回実施。新型コロナウイルス感染症流行に伴い、通常より定員を減らし母子48組が参加。 ・あつまれ！キッズ…区内施設(4か所)において対象年齢毎にサロン形式での開催と、オンラインによる開催。(緊急事態宣言発出のため9月は中止) 延べ554人参加							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育て支援講座(4回連続講座)(実施回数)	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	1	1	
	2	活動指標	親育ち支援事業(4週連続講座)(実施回数)	目標	4	4	4	4	回
				実績	4	4	4	4	
	3	活動指標	あつまれキッズ(実施回数)	目標	39	40	33	44	回
実績				39	35	31	40		
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は出生数や子育て世帯の転入が多い。子育て不安・孤立化を防ぎ、子育て当事者の子育て力の向上と、安心して子育てができる地域づくりのため、子育て当事者に向けた子育てに関する学習や当事者間や地域支援者との交流や、父親の育児参加の促進などが必要とされている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 2年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		早い段階で子育て家庭の孤立化を防ぎ、友だちづくりや地域との交流を促進するため、0歳児対象のあつまれ！キッズを1か所より区内3か所で開催し、オンライン実施も含め区内の幅広いエリアをカバーしていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世帯の転入が多く、子育ての孤立化を防ぐために今後も継続していく必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業の中で交流・学び・情報提供・相談対応を通し、子育て当事者と支援者・当事者間の相互の関係を活用した支援を実施することで、親としての成長も担え事業の成果は上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育て中の親子の子育て不安や孤立化の軽減のため、当事者間・支援者と当事者の相互関係をいかした支援を実施し、早い時期から子育ての仲間作りができるよう講座を開催し、また父親の育児参加など当事者の子育てする力の向上を目指す。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	10	子育てネットワーク推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携			岡部/根津	64813/64851

事業の概要									
事業の概要		地域で支え合いながら子育てできる環境向上のため、地域の関係機関や団体等が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの強化を図り、子育てしやすいまちづくりを推進する。子ども・子育てネットワーク会議や転入者子育て交流会などを実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		都心へのアクセスも良く、子育て世帯の転入も多く、安心して子育てを行たためにも地域の子育て情報の提供や、地域人材・団体とのマッチングへのニーズは高い。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	950	799	321	249	328	179	303	144
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財一般財源	950	799	321	250	328	179	303	144

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の関係機関や団体等が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの強化を図り、地域で支え合いながら子育てしやすいまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育てネットワーク会議…年3回会議を開催するとともに、必要に応じて部会を開催し、講演会の検討等を行う。</li> <li>転入者子育て交流会…地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流の場の提供を年6回行う。</li> <li>子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きっとみつかると楽しい仲間」を年1回開催する。</li> <li>子育てグループのニーズを把握するための見学会の開催を年1回以上実施する。</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	子ども・子育てネットワーク会を3回、研修・企画部会及び情報部会を2回、子育てグループ支援部会を3回開催した。転入者子育て交流会を6回開催した。「きっとみつかると楽しい仲間」を1回開催した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催(開催回数)	目標	4	4	4	3	回
				実績	4	3	3	3	
	2	活動指標	転入者子育て交流会の開催(開催回数)	目標	6	6	6	6	回
				実績	6	6	3	6	
	3	成果指標	子育て交流会「きっとみつかると楽しい仲間」の開催(参加者)	目標	100	100	100	50	人
実績				169	79	0	43		
4	活動指標	子育てグループ見学会の実施(実施回数)	目標	3	3	3	1	回	
			実績	11	7	0	0		

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や団体等と連携し、地域交流の機会(場)の提供や子育てを支える地域づくり(ネットワーク)の強化を推進する必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	子ども・子育てネットワーク会議の回数を4回から3回に減らした。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や支援団体等が連携し、子育てに優しい街づくりを実施する必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民、関係機関、団体等と子ども・子育て支援の課題について協議し、課題解決のため各事業を協働して実施した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域の関係機関や支援団体等がそれぞれの強みを活かせるような更なる連携を模索する。転入者子育て交流会と子育て交流会の実施方法など効果的な方法を検討する必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 年間の出生数や子育て世帯の転入が多い高津区において、子育て不安や孤立化を軽減し子育てしやすい街づくりを目指すことは必要であり、関係機関や支援団体等とのネットワークの強化が重要となっていくため、担い手の発掘や育成へも力を入れながら市民主体の活動へ支援していく必要がある。	

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	15	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/根津	64813/64851	

事業の概要									
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報がさまざまな手段で得られるよう、子育てガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」やリーフレットを発行するとともに、ホームページやアプリなどを通じて情報の提供を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,390	1,258	1,215	1,016	1,121	1,099	1,040	966
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,390	1,258	1,215	1,016	1,121	1,099	1,040	966

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように適切な子育て情報の提供を行う。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の発行(7月に7,000部発行)</li> <li>区内地域子育て支援センターリーフレットの配布</li> <li>ホームページの作成・更新</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の情報を更新し、7,000部発行。ホームページは随時更新。 ・区内地域子育て支援センターリーフレットを関係施設や事業実施時に配布した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	8,000	8,000	7,000	7,000	部	
				実績	8,000	8,000	7,000	7,000		
	2	活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	7,000	5,000	5,000	0	部	
				実績	5,000	0	5,000	0		
	3	成果指標	ホッとこそだてたかつホームページアクセス数	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	件	
実績				8,122	7,358	6,271	4,755			
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和2年度 在庫管理により、子育て情報ガイドブックの発行部数を見直した(8,000部→7,000部) 令和3年度 広告募集を実施した。4枠3件の広告収入があった(60,000円)	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多い。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することが出来た。子育てアプリなど他の情報媒体もある中、ホームページのアクセス件数は減少しているが、引き続き広く情報発信・提供が必要である。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。発行部数については毎年度精査する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報を、手段などを精査しながらガイドブックやホームページを通じて、より親子のニーズに合った情報を提供する。冊子の発行部数については必要な部数を精査する。ホームページについては、必要に応じて内容の更新を行う。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	20	高津区子ども・子育てフェスタ事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		岡部	64813	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で楽しめるイベントの開催</li> <li>子育て中の保護者など参加者が交流を深めることのできる場の提供</li> <li>子育て支援機関や団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の情報提供</li> </ul>							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成17年度	—						
地域の課題と現状		子育て中の保護者の不安や悩みが多様化しているが、孤独感を感じず、子育てを楽しめるよう地域全体で子育て支援を行っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	414	338	488	383	454	299	416	296
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	414	338	488	383	454	299	416	296

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民が、子どもと楽しく過ごしながら、子育てに関する情報を得る中で、子どもを育てる力の向上を図ると共に、子育て支援機関や団体及び関係行政機関が協働して実施することで、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	11月6日に高津市民館で、第17回高津区子ども・子育てフェスタを感染症対策を実施して開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		11月6日に高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から中学生までの子どもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などが催し物や展示などを実施した。例年実施していたオープニングコンサートは、後日、動画配信を行った。来場者は360人(新型コロナウイルス感染防止のため定員を設定)、参加者に配布した各団体等の活動状況を掲載した冊子の参加は51団体。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	子ども・子育てフェスタ(来場者)	目標	1,600	1,600	1,600	320	人
				実績	2,100	1,800	450	360	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は出生数、子育て世代の転入などが多いため、地域で子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安を取り除く場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体などと協働することで、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることも必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育てしやすい環境づくりに加え、子育て世代の孤立化、子どもの居場所づくりなど個別の課題にも対応が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもが参加があり、父親の参加も多くみられた。フェスタの開催を通じて関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	予算だけでなく人工なども含めて費用対効果を分析し、適切な事業規模、実施方法を検討していく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子ども・子育てフェスタは今年度で17回を迎え、当区における子ども・子育てのイベントとして定着しており、子育ての不安をひとつでも取り除き、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る場となっている反面、前例踏襲になっていることもあり社会環境の変化なども考慮して見直し、改善を図っていく。		



# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	05	26	15	35	高津区待機児童対策推進事業		
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675150		地域みまもり支援センター児童家庭課		茂原	64873

事業の概要									
事業の概要		保育園利用予定者の個々のニーズに合った保育園選定の参考となるよう、区内保育園の案内映像を作成し、WEBで公開するとともに、保育所等の位置を示した「高津区子育て施設マップ」の改訂版や、早期の情報提供手段としてのパンフレット「はじめよう保育所探し」を配布することで、情報提供の充実を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業			
		平成26年度	—						
地域の課題と現状		高津区では、令和3年4月における保育所等の保留者が278名と依然高い水準にある。また、令和3年4月における新設認可保育園(認定保育園の認可化等除く)が2園にとどまっており、令和4年4月においても、認可保育園の新設については厳しい状況が予想される。そのような状況下で「待機児童ゼロ」を達成するには、認可保育所等だけでなく、認可外保育所(川崎認定保育園)も含めたマッチングが引き続き重要であり、そのためには利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	722	721	592	564	1,175	856	1,084	740
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	722	721	592	564	1,175	856	1,084	740

計画 (Plan)	
事業の目的	利用者が個々のニーズにより適した保育所の選択が可能となるよう、情報提供の充実化を図る。
今年度の事業の取組内容	区内認可保育園及び川崎認定保育園等の施設紹介映像(90秒/園)の制作と動画投稿サイト(川崎チャンネル)への投稿による情報提供。高津区子育て施設マップ(改訂版)の作成。パンフレット「はじめよう保育所探し」の作成。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う登園自粛等により撮影を見送った園が4園あったものの、その他区内保育園12園(認可9園、小規模保育2園、川崎認定1園)については、予定どおりに施設紹介動画(90秒/園)を制作し、動画投稿サイト(川崎市たかつくチャンネル)に投稿・公開した。また、区内の保育施設を示したマップを4000部、早期保活の保護者に向けたパンフレットを600部、それぞれ予定どおり作成し、新年度の保育園利用案内と併せて配布した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	区内保育園の施設紹介動画の制作と動画投稿サイトでの公開	目標	12	7	17	16	園
				実績	12	7	15	12	
	2	成果指標	高津区子育て施設マップの作成	目標	3,500	3,500	4,000	4,000	部
				実績	3,500	4,000	4,000	4,000	
	3	成果指標	パンフレット「はじめよう保育所探し」作成	目標	—	—	—	600	部
実績				—	—	400	600		
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響に伴って保護者の子育ての考え方やニーズが多様化している中、「待機児童ゼロ」を達成するためには、認可保育所だけでなく川崎認定保育園等も含めたマッチングが引き続き必要な状況にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の社会状況の中、保護者のニーズも多様化しており、施設紹介映像については、保育園の新設や認可化等による定員変更等がある中、双方のマッチングを的確に行うために引き続き最新の状況を反映していく必要があると考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	平成29年度5月に実施したアンケート調査にて施設紹介映像を視聴した90%が「分かりやすかった」と評価していること、また、動画投稿サイトにおける累計再生回数も17万件を超えていることから、一定の成果があると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	施設紹介動画への作成にあたっては、映像の更新(再撮影)を計画的に行うとともに、軽微な変更についてはテロップで対応するなど、撮影数や仕様について必要最小限の範囲で行っており、事務改善の可能性は少ないと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		「待機児童ゼロ」を達成するためには、引き続き認可保育所等だけでなく、川崎認定保育園等を含めたマッチングが必要であり、そのための有効なツールとして、本事業を継続することが必要であると考えます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	40	こども未来事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		地域ケア推進課/保育所等・地域連携			岡部/石倉	64813/64852

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>		次世代を担う子ども達が、将来に向かって希望を持ち伸びやかに成長できるよう、様々な地域資源を活用した事業を行う。もの作り技術の体験、世代間交流、木育推進事業など様々な機会を通じ、心のバリアフリーを推進し感性豊かな心の発達を援助する。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度 平成28年度		事業終了年度 令和3年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費	
<b>地域の課題と現状</b>		少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。また、製造過程に触れる機会の減少やプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	451	240	359	245	336	214	206	187
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	451	240	359	245	336	214	206	187

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	子どもたちが地域の中で、さまざまな体験や多様な人との交流をすることで、自身の将来や地域社会を理解し、つながりを感じるきっかけをつくり、多世代交流を推進する。 国産木や自然の素材に触れ、子どもの豊かな感性を育む。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	・こども未来体験…高津ものまちづくり会と区内小学校との協働によりものづくり技術の講演等 ・多世代交流事業…多様な年齢、地域での交流を実施 ・木育推進事業…既存の事業において、木製遊具での遊びを通して木材に親しむ機会を創出

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
<b>取組内容の実績等</b>	こども未来体験では、「高津ものまちづくり会」による町工場や開発した製品に関する授業を実施し、地域の資源である町工場におけるものづくり技術を小学生に伝えた。/木育推進事業は、遊具等を共有できないため在宅子育て支援の一環として貸し出しを行い、家庭で木に触れる心地よさを体験することができた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1 成果指標	こども未来体験事業(参加者)	目標	130	60	60	60	人
			実績	135	76	91	353	
	2 活動指標	多世代交流事業(開催回数)	目標	14	13	13	6	回
			実績	16	12	6	4	
3 活動指標	木育推進事業(開催回数)	目標	4	4	3	50	回	
		実績	5	7	51	90		
4			目標					
			実績					

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	新型コロナウイルス感染症の影響による社会環境の変化に伴い、感染予防を講じながら新たな実施方法を模索しつつも、市民が集まる事業については、縮小や見直しを行った。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和4年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	ものづくり体験は、令和4年度以降所管課を変更して実施する予定。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会環境の変化により、在宅子育て支援事業としてのニーズに高まりが見られている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	社会の変化に対応して取組手法等の工夫により、成果が上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既存事業、関係機関等の特性を活かしながら事業を推進していくことで、業務改善につながっている。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	こども未来事業としては終了するが、多世代交流事業は、高齢者との交流を対面で行わない新たな取組へと転じ地域での繋がりを継続し、木育推進事業は、引き続き既存事業内で展開し、子育て家庭や子育てを支える地域の人材・団体対象に、遊具の活用による体験をってもらうことで子育てに木(自然)を取り入れる良さを伝えていく。